

特集

『文化表象としての
〈イスラーム〉』

総合文化研究 8 号
目次

2 巻頭言

- 4 〈われわれ〉の価値としてのイスラム
八木久美子
- 18 『ルーツ』から
「ネイション・オブ・イスラム」へ
荒このみ
- 35 南海の女王ラトゥ・キドゥル
19世紀ジャワにおける
イスラームをめぐる文化表象のせめぎ合い
青山亨

- 59 カッワーリーの詩世界
インド・パキスタンのイスラーム宗教歌謡
麻田豊
- 90 「異端者」の見たイスラーム
ミールザ・アーガーハーン・ケルマーニーの
宗教的信条をめぐる覚書
藤井守男
- 104 ハーフエーズとイスラーム
狂信的イスラームへの批判
佐々木あや乃
- 122 初期イスラームの女性神秘家達
メソポタミアの禁欲神秘主義から
ホラーサーン派神秘主義まで
ザフラー・ターヘリー／前田君江訳

書評

- 159 『声、意味ではなく ― わたしの翻訳論』
和田忠彦著
水林章
- 163 『増補〈世界史〉の解体：翻訳・主体・歴史』
酒井直樹・西谷修共著
李孝徳
- 165 『ドストエフスキー 父殺しの文学(上・下)』
亀山郁夫著
阿部賢一
- 167 『〈作者〉をめぐる冒険』
柴田勝二著
谷川道子
- 171 『アフリカン・アメリカン文学
―「ニグロのイディオム」と想像力―』
荒このみ著
亀山郁夫

寄稿

- 176 モンゴル人の使用してきた
文字の研究の諸問題
『僧侶の雑誌』について
ロブサンジャビーン・チョローンバートル
／岡田和行訳
- 181 ブーレーズとIRCAM、
音楽とテクノロジー
福岡由仁郎
- 総合文化研究所2004年度活動報告
編集後記

別冊 所員活動報告